

エイズ先端医療開発室

エイズ先端医療研究部長 白阪琢磨

エイズ先端医療研究部はエイズ先端医療開発室と HIV 感染制御室から構成されている。

海外同様、わが国、特に大阪で HIV 感染症患者の報告数は増加の一途である。HIV 感染症に対する抗 HIV 療法の進歩によって HIV 感染症の予後は大きく改善し、HIV 感染症は医学的管理のできる慢性疾患と捉えられるまでになったが、治癒は未だにない。

当院は薬害 HIV 裁判の和解に基づく恒久対策の一環として、平成 9 年にエイズ診療における近畿ブロックのブロック拠点病院に選定された。当院は診療（全科対応体制）、臨床研究、教育・研修、情報発信の 4 つの機能を担っている。具体的には院内に設けられた HIV/AIDS 先端医療開発センターが核となって関連部署と緊密な連携を取りながら任務を遂行している。診療部門では HIV 感染症は全身疾患であり全科で対応しており、HIV 感染症の専門的診療は感染症内科が担う。その他の機能はエイズ先端医療研究部がコーディネートしている。臨床研究では厚生労働科学研究費補助金によるエイズ対策研究事業(平成 27 年度は指定研究「HIV 感染症および合併症の課題を克服する研究」(研究代表者 白阪琢磨、研究分担者 渡邊大、下司有加、安尾利彦)、指定研究「HIV 感染症の医療体制に関する研究」(研究分担者 白阪琢磨))などを実施し成果を上げ、その研究成果の一部は学会あるいは論文として発表した。臨床研究の主なテーマは HIV 感染症の病態解析や治療に関する研究と患者中心の医療の提供に関する研究である。前者は渡邊大が HIV 感染制御室で実施し、後者をエイズ先端医療開発室で実施している。平成 27 年度の独立行政法人国立病院機構の NHO ネットワーク共同研究課題として、1) 感染早期患者に対する MVC を加えた強化療法の効果と安全性に関する研究 (H26-NHO (エイズ) -02、研究代表者 白阪琢磨)、2) 特徴的な高サイトカイン血症を呈する HIV-1 感染者に関する調査研究 (H26-NHO (エイズ) -03、研究代表者 渡邊大)、3) UGT1A1 遺伝子多型のドルテグラビル血中濃度に及ぼす影響に関する研究 (H26-NHO (エイズ) -01、研究代表者 戸上博昭 (名古屋医療センター)) の 3 課題で研究代表者、研究分担者として研究を遂行した。HIV 感染症の治療の中心である抗 HIV 療法は服薬が基本である。免疫能を回復させ、健康を維持し続けるためには、その服薬率 (服薬アドヒアランス) は 95% 以上である事が求められる。感染者の多くは若者であるが、社会経済的、心理学的、精神的な困難を有する例も多く、医師、看護師のみならず、薬剤師、臨床心理士、ソーシャル・ワーカーなどから成るチームでの医療の提供が必要であり、研究を継続している。また、HIV 感染症患者の様々な病態に対応するには医療施設間での診療連携や福祉施設との相互の連携も必要であり長期療養についても研究を継続している。血液製剤による感染者の多くは C 型肝炎にも重複感染している。HIV 感染症での死亡例が減少した一方で、最近では C 型慢性肝炎での死亡例が増えるなど対策が急がれており、厚生労働科学研究費補助金によるエイズ対策研究事業指定研究班 (江口班 (研究分担者 上平朝子)) の研究分担を担当している。教育・研修では院内向け院外向け共に院内での研修については、看護部、医療相談室、臨床心理室等と共に職員研究部と協働で実施し、多くの参加者を得ている。とりわけ長期療養について訪問看護師研修などを全国で実施している。情報発信については当院のホームページ内に HIV/AIDS 先端医療開発センター (<http://www.onh.go.jp/khac/>) を設け、厚労科研の成果の一部 (HAART

Support) や HIV 感染症/AIDS に関する情報を発信しており、ホームページを 1999 年に開設以来アクセス数は 62 万件を超え、多くの方の利用を得ている。

平成 25 年 4 月には大阪大学大学院医学系研究科の連携大学院 (エイズ先端医療学) が併設され、平成 26 年度から 1 名の大学院生を受け入れている。

今後も、HIV/AIDS 先端医療開発センターの研究部門として HIV 感染症/AIDS に関する臨床研究、教育・研修、情報発信を進め、特に急性感染期の HIV 感染症の診断と治療を新たなテーマとして研究を推進して行きたい。

【2015 年度 研究発表業績】

A-0

Watanabe D, Suzuki S, Ashida M, Shimoji Y, Hirota K, Ogawa Y, Yajima K, Kasai D, Nishida Y, Uehira T, and Shirasaka T : Disease progression of HIV-1 infection in symptomatic and asymptomatic seroconverters in Osaka, Japan: a retrospective observational study. AIDS Res Ther. 2015 May 22;12:19. doi: 10.1186/s12981-015-0059-6. 2015 年 5 月 22 日

Okuma Y, Tanuma J, Kamiryo H, Kojima Y, Yotsumoto M, Ajisawa A, Uehira T, Nagai H, Takeda Y, Setoguchi Y, Okada S : A multi-institutional study of clinicopathological features and molecular epidemiology of epidermal growth factor receptor mutations in lung cancer patients living with human immunodeficiency virus infection. J Cancer Res Clin Oncol. 141(9):1669-78. 2015 年 9 月

Yagura H, Watanabe D, Ashida M, Kushida H, Hirota K, Ikuma M, Ogawa Y, Yajima K, Kasai D, Nishida Y, Uehira T, Yoshino M, Shirasaka T : Correlation between UGT1A1 polymorphisms and raltegravir plasma trough concentrations in Japanese HIV-1-infected patients. J Infect Chemother. 2015;21(10):713-717、2015 年 7 月 6 日

Ikuma M, Watanabe D, Yagura H, Ashida M, Takahashi M, Shibata M, Asaoka T, Yoshino M, Uehira T, Sugiura W, and Shirasaka T : Therapeutic Drug Monitoring of Anti-human Immunodeficiency Virus Drugs in a Patient with Short Bowel Syndrome. Intern Med. in press.

A-3

櫛田宏幸、富島公介、矢倉裕輝、吉野宗宏、廣田和之、伊熊素子、小川吉彦、矢嶋敬史郎、笠井大介、渡邊大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨 : 当院 HIV 感染症症例におけるニューモシスチス肺炎に対するアトバコンの使用状況 17 : P.101-105、日本エイズ学会誌、2015 年 5 月 30 日

須貝 恵、吉用 緑、センテノ田村恵子、鈴木智子、辻 典子、井内亜紀子、濱本京子、田邊嘉也、伊藤俊広 : 診療案内からみる拠点病院の現状。日本エイズ学会誌17(3)、184-188、2015 年8月31日

杉本 彩、中水流正一、榎原祐子、西尾公美子、山田拓哉、石田 永、矢嶋敬史郎、上平朝子、森 清、三田英治 : 科学放射線療法で完全奏効が得られたHIV感染合併肛門管扁平上皮

癌の1例。日本消化器病学会雑誌113(2)、254-262、2016年2月5日

A-4

渡邊 大：診断と治療のTopics「ドルテグラビルの臨床評価」。HIV感染症とAIDSの治療 6(1):19-24、メディカルレビュー社、2015年5月20日

白阪琢磨、上平朝子、立川夏夫：Q&A形式 Case Study 急激な肝機能値上昇をきたした症例への対応。HIV感染症とAIDSの治療 6(1):33-39、メディカルレビュー社、2015年6月

小川吉彦、渡邊 大：エイズに見られる感染症と悪性腫瘍(24)「マルネツフェイ型ペニシリウム症」、化学療法の領域31(6):P1228-1234、医薬ジャーナル社、2015年6月25日

矢嶋敬史郎：HIV感染症の合併症-非AIDS指標疾患を中心に-「悪性疾患」。臨床雑誌「内科」116(5):801-4、南江堂、2015年11月23日

白阪琢磨：HIV感染症、後天性免疫不全症候群(AIDS)。検査と技術 43(13):1306-15、医学書院、2015年12月

白阪琢磨：HIV感染症診療ガイドライン。新領域別症候群シリーズ免疫症候群(第2版)II、35:584-96、日本臨牀社、2016年1月

白阪琢磨：HIV職業曝露の対応と予防内服の推奨。新領域別症候群シリーズ免疫症候群(第2版)II、35:703-10、日本臨牀社、2016年1月

上平朝子：進行性多巣性白質脳症。新領域別症候群シリーズ免疫症候群(第2版)II、35:660-4、日本臨牀社、2016年1月

矢嶋敬史郎：クリプトコッカス症。新領域別症候群シリーズ免疫症候群(第2版)II、35:601-6、日本臨牀社、2016年1月

矢嶋敬史郎：サルモネラ菌血症。新領域別症候群シリーズ免疫症候群(第2版)II、35:636-40、日本臨牀社、2016年1月

白阪琢磨：抗HIV薬「治療薬ハンドブック2016」監修：高久史磨、編集：堀正二、菅野健太郎、門脇孝、乾賢一、林昌洋、P.1365-89、株式会社じほう、2016年1月

白阪琢磨：HIV-1感染症「今日の治療指針 私はこう治療している2016」監修：山口徹、北原光夫、総編集：福井次矢、高木誠、小室一成、P.239-42、医学書院、2016年1月8日

白阪琢磨：日本エイズ学会 HIV感染症「治療の手引き」。化学療法の領域(医薬ジャーナル社)、32巻増刊号 感染症ガイドラインのすべて、P135-143、2016年3月31日

A-5

白阪琢磨：「服薬をはじめのまえに第6版」、患者用服薬支援冊子、鳥居薬品株式会社、2015年6月

白阪琢磨：効果的な献血推進および献血教育方策に関する研究。厚生労働科学研究費補助金（医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業）「効果的な献血推進および献血教育方策に関する研究」平成27年度研究報告書、P.7-12、2016年3月31日

白阪琢磨：HIV感染症及びその合併症の課題を克服する研究。厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策研究事業（エイズ対策政策研究事業））「HIV感染症及びその合併症の課題を克服する研究」平成27年度研究報告書、P.6-10、2016年3月31日

白阪琢磨：HIV感染症の医療体制の整備に関する研究（近畿ブロック）。厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策研究事業（エイズ対策政策研究事業））「HIV感染症の医療体制の整備に関する研究」平成27年度研究報告書、P.64-66、2016年3月31日

渡邊 大：急性感染期の診断および治療に関する研究。厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策研究事業（エイズ対策政策研究事業））「HIV感染症及びその合併症の課題を克服する研究」平成27年度研究報告書、P.146-150、2016年3月31日

下司有加：エイズ診療拠点病院と在宅あるいは福祉施設の連携に関する研究。厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策研究事業（エイズ対策政策研究事業））「HIV感染症及びその合併症の課題を克服する研究」平成27年度研究報告書、P.76-78、2016年3月31日

安尾利彦：HIV陽性者の心理学的問題と援助に関する研究。厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策研究事業（エイズ対策政策研究事業））「HIV感染症及びその合併症の課題を克服する研究」平成27年度研究報告書、P.58-61、2016年3月31日

上平朝子：HIV/HCV重複感染を有する血液凝固異常患者に施行した摘脾の影響に関する研究。厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策研究事業）「血液製剤によるHIV/HCV重複感染患者の肝移植に関する研究」平成27年度研究報告書、2016年3月31日

A-6

白阪琢磨：中学・高校生に知ってほしいHIV、AIDS知識「体と心 保健総合大百科 2015年」p.54、少年写真新聞社、2015年5月

矢倉裕輝：医薬品の適正使用「抗HIV薬」Rp（レシピ）14(3):P.30-45、南山堂、2015年7月1日

西田恭治：（医療講演録）保因者検診のすすめ。OTK CARES No.80、2015年7月

西田恭治：ライフチェンジング 血友病の人々の生活を変える活動と一緒に広めましょう。ノボノルディスク血友病財団（NNHF）活動報告書 2014/2015、翻訳および医学監修、2015年11

月

茨城県守谷市保健センター、ICHG 研究会（田子康之、新井裕子、井内律子、遠藤康伸、大島立裕、岡本多恵子、勝田優、笠井正志、金澤かな子、金澤美弥子、金田暁、小塚雄民、小原ゆみ子、小森敏明、佐々木富子、澤井豊光、白阪琢磨、鹿倉節子、杉浦操、杉山香代子、高岡みどり、竹本真美、田中裕子、長谷川ゆり子、樋口ひとみ、兵道美由紀、藤田直久、藤田忠久、松岡俊彦、三浦正義、村山郁子、森英恵、森本美智子、矢野篤次郎、山之上弘樹、由良嘉兵衛、由良温宣、波多江新平）：ノロウイルス感染症に対する感染症予防対策マニュアル。診療と新薬 52(12):29-42、医事出版社、2015 年 12 月

矢倉裕輝：Evidence Update 2016 最新の薬物治療のエビデンスを付加的に利用する 抗ウイルス薬。薬局(67):P.118-120、南山堂、2016 年 1 月 5 日

B-2

Yajima K, Yagura H, Yukawa S, Hirota K, Ikuma M, Ogawa Y, Kasai D, Watanabe D, Nishida Y, Uehira T, Shirasaka T：Safety and Efficacy of Elvitegravir/Cobicistat/Emtricitabine/Tenofovir Disoproxil Fumarate in Treatment-Naïve Japanese Patients with HIV-1 Infection. World STI & HIV Congress, Brisbane, Australia, 2015 年 9 月 13 日

Yagura H, Watanabe D, Ashida M, Kushida H, Tomishima K, Hirota K, Ikuma M, Yajima K, Kasai D, Nishida Y, Uehira T, Yoshino M, Shirasaka T：UGT1A1*6 Polymorphisms are Predictive of High Plasma Concentrations of Dolutegravir in Japanese Individuals. 2015 World STI & HIV Congress, Brisbane, Australia, 2015 年 9 月 13 日

Kasai D, Yukawa S, Yamamoto Y, Hirota K, Ikuma M, Ueji T, Yajima K, Nishida Y, Uehira T, Shirasaka T：Analysis of the surgical risk for human immunodeficiency virus-1 infected patients. 12th International Congress on AIDS in Asia and the Pacific, Dhaka, 2015 年 11 月 20 日

B-3

上平朝子：医療関連感染対策のポイント-薬剤耐性菌感染・ウイルス感染アウトブレイクに対応するか-。第 89 回日本感染症学会・学術講演会、京都、2015 年 4 月 16 日

矢嶋敬史郎：日和見疾患、長期療養の観点からみる HIV 診療のポイント。第 89 回日本感染症学会学術講演会、京都、2015 年 4 月 16 日

渡邊 大：ドルテグラビルの国内臨床経験（ランチョンセミナー）「SPR の今後の展望」。第 29 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2015 年 11 月 30 日

矢嶋敬史郎：チーム医療における薬学的アプローチの検討。第 29 回日本エイズ学会学術集会・総会 HIV 感染症薬物療法認定・専門薬剤師講習会、東京、2015 年 12 月 1 日

白阪琢磨：HIV 感染症の診断と治療の進歩-これまでとこれから-。第 31 回日本環境感染学会総会・学術集会、京都、2016 年 2 月 19 日

西田恭治: 保因者健診の概念と普及。第 10 回日本血栓止血学会 SSC シンポジウム、東京、2016 年 2 月 20 日

矢嶋敬史郎: 総合診療の現場で HIV 感染症を診断する～HIV 感染症発見のヒントと診療のヒント～。第 12 回日本病院総合診療医学会、横浜、2016 年 2 月 27 日

B-4

小川吉彦、廣田和之、伊熊素子、矢嶋敬史郎、笠井大介、渡邊 大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨: 髄液中 Adenosine deaminase 高値を示した急性 HIV 感染症の一例。第 89 回日本感染症学会学術講演会、京都、2015 年 4 月 17 日

森田眞子、齊藤明音、上田純子、四方文子、尾池真理、岡本 学、青野奈々、里見絵理子: 患者への心理的介入が結果的に臨終場面での家族支援へとつながった一例。第 28 回日本サイコオンコロジー学会、広島、2015 年 9 月 18 日

笠井大介、山本雄大、湯川理己、廣田和之、上地隆史、伊熊素子、矢嶋敬史郎、渡邊 大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨、池田正孝、石田 永、三田英治: 当院における HIV と HCV の重複感染患者に対する Direct Acting Antivirals の使用成績。第 69 回国立病院総合医学会、札幌、2015 年 10 月 2 日

伊熊素子: 重篤な経過をたどった新規診断 HIV 感染者に関する検討。第 43 回日本救急医学会総会・学術集会、東京、2015 年 10 月 21 日

林 晴香、元岡大祐、中山英美、渡邊 大、白阪琢磨、塩田達雄、中村昇太、飯田哲也: PacBio を用いた HIV 薬剤標的遺伝子領域の多様性解析。第 63 回日本ウイルス学会学術集会、福岡、2015 年 11 月 23 日

椎野禎一郎、蜂谷敦子、瀧永博之、吉田 繁、石ヶ坪良明、近藤真規子、貞升健志、横幕能行、古賀道子、中谷安宏、田邊嘉也、渡邊 大、森 治代、南 留美、健山正男、杉浦 互、吉村和久: 国内感染者集団の大規模塩基配列解析に見る MSM 伝搬ネットワークの感染拡大パターン。第 29 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2015 年 11 月 30 日

湯川理己、渡邊 大、山本雄大、廣田和之、上地隆史、矢嶋敬史郎、笠井大介、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨: 国立大阪医療センターでのドルテグラビル変更例における血清 Cre 変化に関する検討。第 29 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2015 年 11 月 30 日

櫛田宏幸、富島公介、矢倉裕輝、吉野宗宏、山本雄大、湯川理己、廣田和之、伊熊素子、上地隆史、矢嶋敬史郎、笠井大介、渡邊 大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨: キードラッグがテノホビルの血中濃度に及ぼす影響。第 28 回日本エイズ学会学術集会、東京、2015 年 11 月 30 日

矢倉裕輝、櫛田宏幸、富島公介、山本雄大、湯川理己、廣田和之、伊熊素子、上地隆史、矢

嶋敬史郎、笠井大介、渡邊 大、西田恭治、吉野宗宏、上平朝子、白阪琢磨：日本人 HIV-1 感染症患者における 1 日 1 回ドルテグラビル投与時の血漿トラフ濃度に関する検討。第 29 回日本エイズ学会学術集会、東京、2015 年 11 月 30 日

冨島公介、櫛田宏幸、矢倉裕輝、山本雄大、湯川理己、廣田和之、伊熊素子、上地隆史、矢嶋敬史郎、笠井大介、渡邊 大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：HIV 感染症患者におけるバルガンシクロビル投与時の臨床検査値の変化に関する調査。第 29 回日本エイズ学会学術集会、東京、2015 年 11 月 30 日

西川歩美、安尾利彦、森田眞子、大谷ありさ、宮本哲雄、下司有加、白阪琢磨：HIV 陽性者における初診時のメンタルヘルス等の諸因子と、その後の受診中断の関連性に関する研究。第 29 回日本エイズ学会学術集会総会、東京、2015 年 11 月 30 日

長與由紀子、城崎真弓、小川良子、城下由衣、木下一枝、池田有里、渡部恵子、武内阿味、大野稔子、成田月子、杉野祐子、伊藤ひとみ、川口 玲、高山次代、羽柴知恵子、下司有加、大金美和、池田和子：エイズ診療拠点病院 HIV 担当看護師に対する支援の検討「HIV/AIDS 看護体制に関する調査」結果から（その 2）～患者からの相談と課題、支援ニーズについて～。第 29 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2015 年 11 月 30 日

小川良子、城下由衣、木下一枝、池田有里、長與由紀子、城崎真弓、渡部恵子、武内阿味、大野稔子、成田月子、杉野祐子、伊藤ひとみ、川口 玲、高山次代、羽柴知恵子、下司有加、大金美和、池田和子：エイズ診療拠点病院 HIV 担当看護師に対する支援の検討「HIV/AIDS 看護体制に関する調査」結果から（その 1）～患者ケア実施に関する現状と課題～。第 29 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2015 年 11 月 30 日

渡邊 大、上平朝子、山本雄大、湯川理己、上地隆史、廣田和之、伊熊素子、矢嶋敬史郎、笠井大介、西田恭治、白阪琢磨：当院の HIV 感染者における長期合併症の有無と抗 HIV 薬の選択の関連性の検討。第 29 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2015 年 12 月 1 日

笠井大介、山本雄大、湯川理己、廣田和之、上地隆史、伊熊素子、矢嶋敬史郎、渡邊 大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨、池田正孝、石田 永、三田英治：HIV 感染者に施行した摘脾の影響に関する検討。第 29 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2015 年 12 月 1 日

矢嶋敬史郎、矢倉裕輝、山本雄大、湯川理己、廣田和之、伊熊素子、笠井大介、渡邊 大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：当院におけるドルテグラビル中止例に関する検討。第 29 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2015 年 12 月 1 日

伊熊素子、廣田和之、小川吉彦、矢嶋敬史郎、笠井大介、渡邊 大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：HIV 患者に生じた *Penicillium marneff-fiei* 脳膿瘍の一例。第 29 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2015 年 12 月 1 日

廣田和之、山本雄大、湯川理己、上地隆史、伊熊素子、矢嶋敬史郎、笠井大介、渡邊 大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：HIV 感染者の梅毒性ぶどう膜炎の症例。第 29 回日本エイズ

学会学術集会・総会、東京、2015年12月1日

岡崎玲子、蜂谷敦子、瀧永博之、渡邊 大、長島真美、貞升健志、近藤真規子、南 留美、吉田繁、小島洋子、森 治代、内田和江、椎野禎一郎、加藤真吾、豊嶋崇徳、伊藤俊広、猪狩英俊、上田敦久、石ヶ坪良明、古賀一郎、太田康男、山元泰之、福武勝幸、古賀道子、西澤雅子、林田庸総、岡 慎一、松田昌和、服部純子、重見 麗、保坂真澄、横幕能行、中谷安宏、田邊嘉也、白阪琢磨、藤井輝久、高田 昇、高田清式、山本政弘、松下修三、藤田次郎、健山正男、杉浦 互、岩谷靖雅、吉村和久：本邦の新規HIV・AIDS診断症例における薬剤耐性HIVの動向。第29回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2015年12月1日

白阪琢磨、岡 慎一、川戸美由紀、橋本修二、日笠 聡、福武勝幸、八橋 弘：血液製剤による HIV 感染者の調査成績第1報 CD4 値、HIV-RNA 量と治療の現状と推移。第29回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2015年12月1日

川戸美由紀、橋本修二、岡 慎一、福武勝幸、日笠 聡、八橋 弘、白阪琢磨：血液製剤による HIV 感染者の調査成績第2報 抗 HIV 薬の組み合わせの変更と CD4 値、HIV・RNA 量の関連性。第29回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2015年12月1日

佐保美奈子、古山美穂、山田加奈子、高 千恵、泉 柚岐、西口初江、白阪琢磨、井内公仁子：介護老人保健施設でのエイズ研修の検討。第29回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2015年12月1日

小川吉彦、渡邊 大、小川 拓、米川真輔、宇野健司、中村（内山）ふくみ、古西 満、笠原 敬、白阪琢磨、三笠桂一：長期間HIV western blot法の陽転化を認めず免疫機能不全を呈したHIV感染症の一例。第29回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2015年12月1日

道川綾加、矢嶋敬史郎、廣常秀人、富島公介、岡本 学、安尾利彦、増田雅子、渡津千代子、上平朝子、白阪琢磨：PWA サポートチームの活動における心理社会的問題への介入の検討。第29回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2015年12月1日

沢田貴志、山本裕子、塚田訓久、今村頭史、白阪琢磨、横幕能行、矢野邦夫、中村仁美、上田敦久、保科斉生、猪狩英俊、岩室紳也、仲尾唯治：HIV 陽性外国人の出身地の多様化と医療アクセス。第29回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2015年12月1日

西川歩美、古谷野淳子、矢永由里子、鈴木葉子、紅林洋子：薬害HIV遺族相談事業「日々についてのおたずね」を通じた今後の遺族支援の検討に関する研究—その1—。第29回日本エイズ学会学術集会総会、東京、2015年12月1日

安尾利彦、仲倉高広、下司有加、中濱智子、東 政美、鈴木成子、白阪琢磨：HIV 陽性者のメンタルヘルスと心理的特性の関連性に関する研究。第29回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2015年12月1日

B-5

西田恭治：保因者健診のすすめーそこから学ぶ医療者および患者会の役割ー。第7回山陰凝固研究会、米子、2015年6月6日

上平朝子：CREの院内感染対策。第85回日本感染症学会西日本地方会学術集会/第58回日本感染症学会中日本地方会学術集会/第63回日本化学療法学会西日本支部総会合同開催、奈良、2015年10月16日

矢嶋敬史郎：皮膚疾患からHIV感染症を診断する。第85回日本感染症学会西日本地方会学術集会/第58回日本感染症学会中日本地方会学術集会/第63回日本化学療法学会西日本支部総会合同開催、奈良、2015年10月17日

矢倉裕輝：抗HIV療法の現状と薬剤師の役割・介入のポイント〜チーム医療の中でいかに職能を発揮するか〜。日本病院薬剤師会東海ブロック日本薬学会東海支部合同学術大会2015、名古屋、2015年11月1日

上平朝子：当院におけるMBL産生腸内細菌科細菌のアウトブレイクの現状と対策。第11回京都Infection Control研究会、京都、2015年11月14日

B-6

湯川理己、渡邊 大、山本雄大、廣田和之、上地隆史、矢嶋敬史郎、笠井大介、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：国立大阪医療センターにおけるTDF+FTC+RAL処方例における腎機能についての検討。第29回近畿エイズ研究会学術集会、大阪、2015年6月6日

渡邊 大、鈴木佐知子、蘆田美紗、松本絵梨奈、廣田和之、伊熊素子、矢嶋敬史郎、笠井大介、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：HIV感染者におけるカポジ肉腫関連ヘルペスウイルスに対する抗体保有率と抗体陽転率の検討。第29回近畿エイズ研究会学術集会、大阪、2015年6月6日

矢倉裕輝、渡邊 大、蘆田美紗、櫛田宏幸、富島公介、廣田和之、伊熊素子、矢嶋敬史郎、笠井大介、西田恭治、吉野宗宏、上平朝子、白阪琢磨：日本人HIV-1感染症患者におけるUGT1A1遺伝子多型とラルテグラビル血漿トラフ濃度の関連。第29回近畿エイズ研究会学術集会、大阪、2015年6月6日

林 晴香、元岡大祐、中山英美、渡邊 大、白阪琢磨、塩田達雄、中村昇太、飯田哲也：PacBioを用いたHIV薬剤標的遺伝子領域の多様性解析。NGS現場の会第四回研究会、茨城、2015年7月2日

廣田和之、渡邊 大、山本雄大、湯川理己、上地隆史、伊熊素子、矢嶋敬史郎、笠井大介、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：Mycobacterium genavense感染症による大腰筋膿瘍、ショックを呈したHIV感染者の1例。第85回日本感染症学会西日本地方会学術集会/第58回日本感染症学会中日本地方会学術集会/第63回日本化学療法学会西日本支部総会合同開催、奈良、2015年10月15日

B-7

渡邊 大：大阪医療センターにおけるドルテグラビルの臨床経験より～DTG+ABC/3TCレジメンを中心に～。ドルテグラビル発売1周年記念講演会、大阪、2015年4月19日

渡邊 大：HIV診療における困難症例 エファビレンツを含む抗HIV療法からラルテグラビルを含む抗HIV療法に変更した一例。第5回北海道HIVセミナー、札幌、2015年5月9日

西田恭治：血友病保因者健診のすすめー”She-mophilia”にも包括医療をー。第12回血友病看護フォーラム、甲府、2015年5月23日

白阪琢磨：HIV感染症の神経学的合併症。第3回関西神経感染症研究会【第一報】、大阪、2015年6月27日

矢倉裕輝：抗HIV薬の最近の動向と各薬剤の注意点。第20回東海HIV感染症研究会、名古屋、2015年6月27日

下司有加：あの人最近きてないね そんな時どうする？。第20回東海HIV感染症研究会、名古屋、2015年6月27日

渡邊 大：HIV感染者の長期合併症の管理 インテグラーゼ阻害剤の位置づけ。HIV Specialist Forum in Osaka、大阪、2015年7月4日

西田恭治：血友病医療環境の変遷～そこから近年の課題を考える～。第12回四国血友病治療セミナー、徳島、2015年7月25日

矢倉裕輝：DAA製剤および遺伝子多型がRALの体内動態に及ぼす影響。第8回近畿HIV FRONTIER研究会、2015年7月25日

白阪琢磨：透析医療者のためのHIV感染症の知識。日本腎不全看護学会 東海地区教育セミナー、名古屋、2015年9月13日

矢倉裕輝：UGT1A1遺伝子多型が抗HIV薬の薬物動態に及ぼす影響。探索医療薬物研究会 法円坂地域医療フォーラム合同シンポジウム、大阪、2015年9月28日

西田恭治：これからの血友病保因者への配慮。長野血友病フォーラム2015、長野、2015年11月21日

櫛田宏幸：B型肝炎合併透析症例においてTDFを含むレジメンを選択した症例。関西HIV臨床カンファレンス薬剤師部会、大阪、2016年2月7日

西田恭治：血友病保因者健診のすすめ-そこから学ぶ保因者としての自覚-。三重県へモフィリアケアセミナー、津、2016年2月13日

B-8

白阪琢磨：HIV/AIDS 医療の現状と当院の役割。新入職者オリエンテーション、大阪、2015年4月1日

安尾利彦：健康管理（メンタルヘルス）。新入職者オリエンテーション、大阪、2015年4月2日

矢倉裕輝：抗 HIV 薬の最近の話題。第7回大阪抗 HIV 薬勉強会、大阪、2015年4月11日

櫛田宏幸：ART と NTM 治療薬の相互作用が及ぼす影響を考慮した1例。第7回大阪抗 HIV 薬勉強会、大阪、2015年4月11日

西田恭治：やりたいことを思いっきりやるために～血友病と上手につきあう。Baxweb2015 公開セミナー、東京、2015年4月17日

白阪琢磨：概論。平成27年度大阪大学医学部環境医学・公衆衛生実習、大阪、平成27年5月7日

矢倉裕輝：抗 HIV 療法の現状について。第1回抗 HIV 療法ブラッシュアップセミナー、大阪、2015年5月16日

冨島公介：抗 HIV 薬基本講座“Key Drug”。第1回抗 HIV 療法ブラッシュアップセミナー、大阪、2015年5月16日

白阪琢磨：HIV、AIDS 基礎知識～医療と最新の治療について。大阪府平成27年度 HIV、AIDS 基礎研修、大阪、2015年5月22日

岡本学：個別施策層（MSM）への対応と HIV 陽性者が利用できる制度。大阪府保健師研修、大阪、2015年5月22日

白阪琢磨：疫学。平成27年度大阪大学医学部環境医学・公衆衛生実習、大阪、平成27年6月4日

西川歩美：ファシリテーション。平成27年度遺族交流会、福島、2015年6月7日

森田眞子：グループワークファシリテーション。看護部1年目レジリエンス研修、大阪、2015年6月8日

安尾利彦：ストレスとは。大阪医療センター看護部1年目レジリエンス研修、大阪、2015年6月8日

安尾利彦：セルフケアとは。大阪医療センター看護部1年目レジリエンス研修、大阪、2015年

6月8日

森田眞子：講義・グループワーク指導。HIV感染症薬物療法認定薬剤師養成研修、大阪、2015年6月10日

速見佳子：講義・グループワーク指導。HIV感染症薬物療法認定薬剤師養成研修、大阪、2015年6月10日

笠井大介：講義「新興再興感染症」。兵庫医療大学、神戸、2015年6月15日

岡本 学：HIV感染症患者の心理・社会的問題と援助。第9回道東地区エイズ拠点病院連絡協議会・研修会、北海道、2015年6月20日

森田眞子：講義・グループワーク指導。HIV感染症薬物療法認定薬剤師養成研修、大阪、2015年6月24日

大谷ありさ：講義・グループワーク指導。HIV感染症薬物療法認定薬剤師養成研修、大阪、2015年6月24日

白阪琢磨：HIVの最新治療。厚生科研エイズ対策研究事業第10回HIVサポートリーダー養成研修、大阪、2015年6月26日

岡本 学：エイズカウンセリング研修講義。大阪府エイズカウンセリング研修（基礎編）、大阪、2015年6月26日

安尾利彦：事例提供。大阪精神分析セミナー、大阪、2015年6月28日

西田恭治：血友病保因者健診のすすめ。血友病治療での整形外科医との連携における臨床講座、大阪、2015年6月29日

岡本 学：HIV陽性者の支援と福祉制度について。大阪市保健所主催感染症対策にかかる保健師研修（応用編）、大阪、2015年6月30日

笠井大介：講義「新興再興感染症」。兵庫医療大学、神戸、2015年7月1日

矢嶋敬史郎：KS、HIV脳症、PML。平成27年度大阪大学医学部環境医学・公衆衛生実習、大阪、平成27年7月2日

矢嶋敬史郎：HIV感染者に見られる併発症について。北陸ブロック医療等相談会、福井、2015年7月4日

森田眞子：HIV陽性者の心理的支援。HIV陽性者の看護③チーム医療：チーム診療の実際、HIV/AIDS看護師研修会初心者コース、大阪、2015年7月7日

上平朝子：感染症コース「HIV 感染症」。関西医科大学 講義、大阪、2015 年 7 月 9 日

森田眞子：HIV 陽性者の事例について。バウムテスト研究会、京都、2015 年 7 月 13 日

森田眞子：講義・グループワーク指導。HIV 感染症薬物療法認定薬剤師養成研修、大阪、2015 年 7 月 22 日

宮本哲雄：講義・グループワーク指導。HIV 感染症薬物療法認定薬剤師養成研修、大阪、2015 年 7 月 22 日

下司有加：HIV 陽性者の療養支援。厚生科研主催訪問看護師研修会、大阪、2015 年 7 月 26 日

西川歩美：講師。平成 27 年度遺族相談員研修会、大阪、2015 年 7 月 26 日

森 布季：講師。平成 27 年度遺族相談員研修会、大阪、2015 年 7 月 26 日

矢嶋敬史郎：HIV 感染症の治療。第 34 回薬剤師のための抗 HIV 薬服薬指導研修会、広島、2015 年 8 月 1 日

岡本 学：MSW が出会う多様な生き方・希少な疾病 ～セクシャル・マイノリティと HIV/AIDS ～。大阪医療ソーシャルワーカー協会中堅者研修会、大阪、2015 年 8 月 1 日

白阪琢磨：HIV 職業曝露の予防と対策。兵庫青野原病院院内講演会、小野市、2015 年 8 月 7 日

白阪琢磨：HIV 陽性者の人権問題～HIV、AIDS 等の現状と課題～。大阪府人権総合講座 人権相談員養成コース、大阪、2015 年 8 月 11 日

渡邊 大：HIV と急性感染。平成 27 年度大阪大学医学部環境医学・公衆衛生実習、大阪、平成 27 年 8 月 19 日

廣田和之：CMV 感染症。平成 27 年度大阪大学医学部環境医学・公衆衛生実習、大阪、平成 27 年 8 月 19 日

東 政美：HIV 陽性者の外来支援。平成 27 年度大阪大学医学部環境医学・公衆衛生実習、大阪、平成 27 年 8 月 19 日

榎田宏幸：HIV と服薬指導。平成 27 年度大阪大学医学部環境医学・公衆衛生実習、大阪、平成 27 年 8 月 19 日

西田恭治：薬害エイズ。平成 27 年度大阪大学医学部環境医学・公衆衛生実習、大阪、平成 27

年 8 月 20 日

上平朝子：女性と HIV。平成 27 年度大阪大学医学部環境医学・公衆衛生実習、大阪、平成 27 年 8 月 20 日

笠井大介：HIV と悪性腫瘍、針刺し。平成 27 年度大阪大学医学部環境医学・公衆衛生実習、大阪、平成 27 年 8 月 21 日

伊熊素子：抗酸菌症。平成 27 年度大阪大学医学部環境医学・公衆衛生実習、大阪、平成 27 年 8 月 21 日

中濱智子：陽性妊婦の看護支援。平成 27 年度大阪大学医学部環境医学・公衆衛生実習、大阪、平成 27 年 8 月 21 日

竹花 惇：HIV とソーシャルワーク。平成 27 年度大阪大学医学部環境医学・公衆衛生実習、大阪、平成 27 年 8 月 21 日

矢倉裕輝：当院における STR 製剤の処方状況。Meet the Expert in Osaka、大阪、2015 年 8 月 22 日

森田眞子：HIV とカウンセリング。平成 27 年度大阪大学医学部環境医学・公衆衛生実習、大阪、平成 27 年 8 月 24 日

笠井大介：PCP。平成 27 年度大阪大学医学部環境医学・公衆衛生実習、大阪、平成 27 年 8 月 28 日

森田眞子：HIV 陽性者の心理的支援。HIV 陽性者の看護③チーム医療：チーム診療の実際、HIV/AIDS 看護師研修会初心者コース、大阪、2015 年 9 月 8 日

白阪琢磨：疫学と抗 HIV ガイドライン。平成 27 年度 HIV 感染症研修会、大阪、2015 年 9 月 28 日

西田恭治：血友病治療はアドヒアランスからコンコーダンスの時代へ。バクスアルタ株式会社設立記念講演会、東京、2015 年 8 月 29 日

白阪琢磨：HIV、エイズの基礎知識と施設での受け入れについて。高齢者等介護施設のための HIV、エイズ研修会、大阪、2015 年 9 月 11 日

櫛田宏幸：HIV 感染症患者への服薬指導と保険薬局との連携について。第 6 回沖縄抗 HIV 勉強会、沖縄、2015 年 9 月 12 日

西田恭治：血友病のエイジングケア。THE NEXT 2015 Advanced、大阪、2015 年 9 月 12 日

矢嶋敬史郎 : HIV 感染症/AIDS の基礎と最新の治療。第 55 回みやぎ薬剤師学術研修会、仙台、2015 年 9 月 19 日

矢倉裕輝 : 抗 HIV 薬の最近の動向と各薬剤の注意点。第 8 回大阪抗 HIV 薬勉強会、大阪、2015 年 9 月 26 日

富島公介 : 合併症を考慮した薬剤選択 ～ICU での ART。第 8 回大阪抗 HIV 薬勉強会、大阪、2015 年 9 月 26 日

渡邊 大 : HIV 感染症の診断。平成 27 年度 HIV 感染症研修会、大阪、2015 年 9 月 28 日

岡本 学 : HIV 感染者に対するソーシャルワーク。平成 27 年度 HIV 感染症研修会、大阪、2015 年 9 月 28 日

安尾利彦 : HIV とカウンセリング。平成 27 年度 HIV 感染症研修会、大阪、2015 年 9 月 28 日

矢倉裕輝 : 薬剤師の役割と服薬指導。平成 27 年度 HIV 感染症研修会、大阪、2015 年 9 月 28 日

渡邊 大、矢倉裕輝 : 初回抗 HIV 療法の実際。平成 27 年度 HIV 感染症研修会、大阪、2015 年 9 月 28 日

笠井大介 : 日和見感染症 1、2。平成 27 年度 HIV 感染症研修会、大阪、2015 年 9 月 29 日

矢嶋敬史郎 : 医師・薬剤師向け症例検討。平成 27 年度 HIV 感染症研修会、大阪、2015 年 9 月 29 日

富田朋子、下司有加、矢倉裕輝、岡本 学 : チーム医療の実際～多職種との協働～。平成 27 年度 HIV 感染症研修会、大阪、2015 年 9 月 29 日

上平朝子 : 針刺し暴露後対策/女性と HIV。平成 27 年度 HIV 感染症研修会、大阪、2015 年 9 月 29 日

東 政美 : 外来・病棟看護と療養支援。平成 27 年度 HIV 感染症研修会、大阪、2015 年 9 月 29 日

西田恭治 : 血友病診療・凝固因子製剤の使い方。平成 27 年度 HIV 感染症研修会、大阪、2015 年 9 月 29 日

上平朝子 : 大阪医療センターにおける CRE アウトブレイクへの対応。三重大学医学部附属病院職員研修会、津、2015 年 9 月 29 日

渡邊 大 : HIV 急性感染。平成 27 年度 HIV 感染症医師実地研修会 (1 ヶ月コース)、大阪、2015

年 10 月 1 日

上平朝子:免疫再構築症候群(IRIS)。平成 27 年度 HIV 感染症医師実地研修会(1 ヶ月コース)、大阪、2015 年 10 月 1 日

矢嶋敬史郎:日和見感染症診療(カンジダ症・クリプトコッカス症他)。平成 27 年度 HIV 感染症医師実地研修会(1 ヶ月コース)、大阪、2015 年 10 月 1 日

矢嶋敬史郎:日和見感染症診療(HIV 脳症・PML)。平成 27 年度 HIV 感染症医師実地研修会(1 ヶ月コース)、大阪、2015 年 10 月 1 日

伊熊素子:日和見感染症診療(抗酸菌症)。平成 27 年度 HIV 感染症医師実地研修会(1 ヶ月コース)、大阪、2015 年 10 月 2 日

上平朝子:HIV 感染症の基礎知識と感染対策。大阪府 HIV 感染者等歯科診療連携体制構築事業における協力歯科診療所向け研修会、大阪、2015 年 10 月 3 日

下司有加:HIV 感染症の基礎知識。公益財団法人エイズ予防財団 HIV 検査担当者向け研修会、大阪、2015 年 10 月 5 日

渡邊 大:抗 HIV 療法の変更と薬剤耐性。平成 27 年度 HIV 感染症医師実地研修会(1 ヶ月コース)、大阪、2015 年 10 月 5 日

廣田和之:STD(性行為感染症)の診断。平成 27 年度 HIV 感染症医師実地研修会(1 ヶ月コース)、大阪、2015 年 10 月 5 日

中濱智子:陽性妊婦の看護支援。平成 27 年度 HIV 感染症医師実地研修会(1 ヶ月コース)、大阪、2015 年 10 月 6 日

上平朝子:HIV 感染症の基礎知識。平成 27 年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、大阪、平成 27 年 10 月 6 日

廣田和之:CMV 感染症。平成 27 年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、大阪、平成 27 年 10 月 6 日

中濱智子:陽性妊婦の看護支援。平成 27 年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、大阪、平成 27 年 10 月 6 日

東 政美:在宅療養支援の実際。平成 27 年度 HIV 感染症医師実地研修会(1 ヶ月コース)、大阪、2015 年 10 月 7 日

渡邊 大:HIV 感染症の診断。平成 27 年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、大阪、平成 27 年 10 月 7 日

東 政美：在宅療養支援の実際。平成 27 年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、大阪、平成 27 年 10 月 7 日

岡本 学：HIV 感染症と物質依存。平成 27 年度 HIV 感染症医師実地研修会（1 ヶ月コース）、大阪、2015 年 10 月 8 日

安尾利彦、宮本哲雄：神経心理検査と事例検討。平成 27 年度 HIV 感染症医師実地研修会（1 ヶ月コース）、大阪、2015 年 10 月 8 日

伊熊素子：抗酸菌症。平成 27 年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、大阪、平成 27 年 10 月 8 日

岡本 学：HIV 感染症と物質依存。平成 27 年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、大阪、平成 27 年 10 月 8 日

安尾利彦、宮本哲雄：神経心理検査と事例検討。平成 27 年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、大阪、平成 27 年 10 月 8 日

笠井大介：HIV と呼吸器感染症。平成 27 年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、大阪、平成 27 年 10 月 9 日

西田恭治：血友病診療。平成 27 年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、大阪、平成 27 年 10 月 9 日

白阪琢磨：HIV 感染症の疫学。平成 27 年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、大阪、平成 27 年 10 月 9 日

富島公介：薬剤師の役割と服薬指導。平成 27 年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、大阪、平成 27 年 10 月 9 日

森田眞子：グループワークファシリテーション。エイズ予防財団平成 27 年度 HIV 検査担当者向け研修会、大阪、2015 年 10 月 15 日、16 日

岡本 学：MSM への理解。エイズ予防財団主催 HIV 検査担当者向け研修会、大阪、2015 年 10 月 16 日

西川歩美：ファシリテーション。平成 27 年度遺族交流会、大阪、2015 年 10 月 18 日

森 布季：ファシリテーション。平成 27 年度遺族交流会、大阪、2015 年 10 月 18 日

大谷ありさ：事例提供。「多職種と“話せる”カウンセラーになるための研修会」（厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV 感染症の医療体制の整備に関する研究」分担研究

「HIV カウンセリングの普及、および充実化に関する研究」主催)、東京、2015年10月18日

下司有加: HIV 感染症の基礎知識とその支援。感染管理認定看護師教育課程講義「看護倫理」、神戸、2015年10月20日

下司有加: HIV/AIDS の基礎知識と HIV 陽性者の療養支援。厚生科研主催訪問看護師研修会、北海道、2015年10月22日

矢倉裕輝: 抗 HIV 薬の処方現状と TDM について。第2回抗 HIV 療法ブラッシュアップセミナー、大阪、2015年10月24日

白阪琢磨: HIV について。長浜バイオ大学バイオサイエンス学部アニマルバイオサイエンス学科「感生生物学」講義、滋賀、2015年10月28日

上平朝子: HIV 感染症の基礎。厚生科研エイズ対策研究事業 HIV 陽性者に対するメンタルサポートに関する研修会、京都、2015年11月1日

矢嶋敬史郎: 口の中から見える HIV 感染症。第6回中国四国地方 HIV 陽性者の歯科診療体制構築のための研究会議、岡山、2015年11月1日

下司有加: HIV 感染症の基礎知識と陽性者の療養支援。吹田市保健所在宅サービス対象者研修会、大阪、2015年11月4日

大谷ありさ: 「寂しさを抱える HIV 陽性者との心理療法」事例提供。HIV/AIDS 医療におけるカウンセリング研修会、大阪、2015年11月6日

富田朋子: 『死にたい』と訴える HIV 陽性者との心理療法」事例提供。HIV 医療におけるカウンセリング研修会、大阪、2015年11月6日

西田恭治: 成人患者への投与経験。オルプロリクス発売1周年講演会、東京、2015年11月7日

岡本学: 地域に根ざした HIV 陽性者の療養に向けて。第7回沖縄 HIV 臨床カンファレンス、沖縄、2015年11月7日

矢倉裕輝: 服薬支援の実際～服薬スケジュールの組み方・服薬継続への関わり～。平成27年度 HIV/AIDS 看護研修会、大阪、2015年11月9日

森田眞子: グループワークファシリテーション。なのはな主催新入職者向けセルフケア研修、大阪、2015年11月12日

安尾利彦: ストレスとは。なのはな主催新入職者向けセルフケア研修、大阪、2015年11月12日

安尾利彦：セルフケアとは。なのはな主催新入職者向けセルフケア研修、大阪、2015年11月12日

安尾利彦：メンタル不調者への気づきと対応。副看護師長のためのメンタルヘルス勉強会、大阪、2015年11月12日

白阪琢磨：HIVの最新治療。厚生科研エイズ対策研究事業第11回HIVサポートリーダー養成研修、大阪、2015年11月13日

白阪琢磨：現代的健康課題について－HIV、エイズや性感染症について－。平成27年度新規採用養護教諭研修（第10回）、大阪、2015年11月13日

下司有加：看護学部講義。兵庫医療大学、兵庫、2015年11月18日

森田眞子：助言者。陽性告知事例検討会～「あなたになら話せる」HIV検査相談と陽性告知の場面～枚方市保健所保健予防課職場研修、大阪、2015年11月20日

矢倉裕輝：当院におけるSTR製剤の処方状況。HIV Web Conference、大阪、平成27年11月26日

白阪琢磨：地域でHIV、エイズ患者を支えるために～在宅生活を支えるあなたに知ってほしいこと～。八尾市保健所「HIV陽性者地域支援者啓発事業研修会」、八尾、2015年11月27日

上平朝子：院内感染対策について。鳥取大学医学部附属病院職員研修会、米子、2015年11月27日

上平朝子：当院におけるCREアウトブレイクの現状と対策。鳥取県院内感染対策講習会、米子、2015年11月28日

白阪琢磨：HIV感染症・治療。大阪赤十字看護専門学校「成人看護学IV援助論4」講義、大阪、2015年12月2日

白阪琢磨：近畿ブロック拠点病院でのHIV診療の現状。平成27年度HIV医療研修会、大阪、2015年12月3日

上平朝子：標準予防策の基本とHIV感染予防対策について。平成27年度HIV医療研修会、大阪、2015年12月3日

下司有加：HIV陽性者の療養支援。大阪赤十字看護専門学校成人慢性期講義、大阪、2015年12月3日

安尾利彦、富田朋子、森田眞子、宮本哲雄、西川歩美、水木 薫、森 布季：ファシリテーション。平成 27 年度遺族交流会、京都、2015 年 12 月 6 日

富田朋子、森田眞子：心理士の仕事～普段心理士は何を考え、何をみて患者と会っているか～（事例、他職種にも役立つヒント）。がんサポートチームセミナー、大阪、2015 年 12 月 10 日

白阪琢磨：職業曝露後対策について－HIV を中心に。大阪府医師会労災部会 第 2 回労災医療研修会、大阪、2015 年 12 月 11 日

下司有加：HIV 陽性者の療養支援。和歌山県福祉保健部研修会、和歌山、2015 年 12 月 19 日

下司有加：アドバンストコース講義。中四国ブロック第 11 回看護師のためのエイズ診療従事者研修、広島、2016 年 1 月 9 日

森田眞子：「HIV 医療における心理的援助～大阪医療センターでの経験から」および事例検討会 I・II コメンテーター。平成 27 年度第 2 回 HIV/AIDS 専門カウンセラー研修会、広島、2016 年 1 月 16、17 日

矢嶋敬史郎：口の中からみえる HIV 感染症。徳島大学病院キャリアアップ講演会、徳島、2016 年 1 月 19 日

白阪琢磨：HIV、AIDS の現状と支援。大阪府立大学 公衆衛生看護学 I、大阪、2016 年 1 月 21 日

岡本 学：HIV 陽性者の心理・社会的問題と支援について。島根県臨床心理士会主催 HIV 支援に関する研修会、松江、2016 年 1 月 23 日

笠井大介：HIV 感染症の基礎知識。社会医療法人愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院 院内感染対策研修会、高槻、2016 年 1 月 26 日

下司有加：在宅療養における HIV 感染者への看護。全国訪問看護事業協会研修、大阪、2016 年 1 月 30 日

安尾利彦：HIV 医療におけるカウンセリングについて。大阪府医師会 HIV 地域医療連携研修会、大阪、2016 年 1 月 30 日

西川歩美：講師。平成 27 年度遺族・患者相談員合同研修会、大阪、2016 年 1 月 31 日

森 布季：講師。平成 27 年度遺族・患者相談員合同研修会、大阪、2016 年 1 月 31 日

白阪琢磨：献血推進。「安全な輸血確保による感染症予防」研修、吹田、2016 年 2 月 1 日

白阪琢磨：HIV 感染症の現状と HIV 陽性者の療養支援について。高槻市保健所 HIV、エイズ講習会、高槻、2016 年 2 月 4 日

矢嶋敬史郎：症例検討。平成 27 年度包括的 HIV カウンセリング研修会、福山、2016 年 2 月 20 日

上平朝子：大阪医療センターにおける CRE アウトブレイクの現状と対策。社会福祉法人恩賜財団済生会京都病院 平成 27 年度第 2 回院内感染対策研修会、長岡京、2016 年 2 月 26 日

白阪琢磨：HIV 感染症の最新治療。平成 27 年度 NGO 指導者研修会（エイズ予防財団）、東京、2016 年 2 月 28 日

岡本 学：HIV 陽性者の心理・社会的問題とわたしたちにできること。第 132 回岡山 HIV 診療ネットワーク研究会、岡山、2016 年 3 月 2 日

岡本 学：HIV 陽性者の心理・社会的問題とわたしたちにできること。高知県緩和ケア施設・療養型病床施設・透析施設・訪問看護施設対象 HIV 感染症/AIDS 研修会、高知、2016 年 3 月 5 日

白阪琢磨：今後の被害救済医療の充実に向けて。薬害エイズ裁判和解記念 20 周年記念集会、東京、2016 年 3 月 26 日

B-9

渡邊 大：感染症 TODAY 「今後の抗 HIV 薬の展望」。ラジオ NIKKEI。2015 年 5 月 6 日

白阪琢磨：HIV、AIDS の現状や基礎的な知識について。FM 大阪ラジオ「HIV、AIDS 啓発プロジェクト LOVE+RED」、大阪、2015 年 6 月 6 日、13 日

白阪琢磨：HIV の現状や性感染症について（公開収録 大阪市内公立学校中学 3 年生対象）。FM 大阪ラジオ「HIV、AIDS 啓発プロジェクト LOVE+RED」、大阪、2015 年 7 月 18 日、25 日

白阪琢磨：HIV、AIDS についての疑問・質問（スタジオ収録 大阪市内公立学校中学 3 年生対象）。FM 大阪ラジオ「HIV、AIDS 啓発プロジェクト LOVE+RED」、大阪、2015 年 8 月 15 日、22 日

白阪琢磨：HIV 最新情報について解説。読売テレビ「情報ライブミヤネ屋」、大阪、2015 年 11 月 18 日

白阪琢磨：「大阪エイズウィークス 2015」や HIV、AIDS にまつわる状況・環境を振り返って。FM 大阪ラジオ「HIV、AIDS 啓発プロジェクト LOVE+RED」、大阪、2015 年 12 月 26 日、2016 年 1 月 2 日